



地域の農業振興と産業の発展に期待

―南丹市・虎屋 企業誘致協定書締結調印式―

八月十日、南丹市と株式会社「虎屋」（黒川光博代表取締役社長）による企業誘致協定書の締結調印式が行われました。

締結調印式には、佐々木市長や京都府職員、市職員ら関係者二十人が出席し、戸田雄一郎南丹広域振興局長の立ち会いのもと、佐々木市長と黒川社長が、協定書に署名し、調印を行いました。

株式会社「虎屋」は和菓子製造販売の大手企業として事業を展開されています。今回の企業誘致については、京都市にある現在の京都工場の機能を、南丹市に建



協定書を交わす佐々木市長と黒川社長



工場建設を計画している八木町北広瀬地区

設予定の新工場へ移転される予定となっており、西日本における拠点工場となります。建設される工場は、地上三階地下一階、延べ床面積約五千五百平方メートルで、平成十九年秋の完成をめどに南丹市八木町北広瀬地区内に計画されています。新工場では、「丹波大納言小豆」をはじめとする地元の農産物を活用した新たな商品づくりにも取り組まれる予定です。黒川社長は、自然豊かな丹波地区でおいしく、楽しく食べられる和菓子を作りたいと抱負を述べられました。

夏休みの交通安全を呼びかける

―夏の交通安全運動街頭啓発―

七月三十日、南丹市美山町安掛の「美山ふれあい広場」付近で夏の交通安全運動の街頭啓発が行われました。夏休みに入り、レジャーや帰省などで自動車交通量が増えるとともに、子どもたちの屋外での活動が増えるため、一人ひとりに交通安全の意識を高め

てもらふことを目的に、南丹市交通指導員や南丹船井交通安全協会南丹支部の会員、南丹警察署員らおよそ二十人が、道行く車に交通ルールの遵守を、またバイクにはヘルメット着用徹底の徹底を呼びかけました。



交通安全を呼びかけるチラシが配られました

八月一日、南丹市における地域福祉計画および次世代育成支援行動計画、障害福祉計画などに関する施策の検討と推進を図る、南丹市福祉計画等策定委員会（以下「策定委員会」）が設置されました。策定委員会は、三十五人の委員で構成され、会長には高井豊さん（南丹市園部町）が選出されました。今後、策定委員会ではそれぞれの計画について平成十九年度中の策定に向け（障害福祉計画については今年度中）協議が進められます。

地域福祉の輪を広げる

―南丹市福祉計画等策定委員会―



南丹市としての統一した福祉計画が協議されます